SDGs JAPAN SCHOLARSHIP
岩佐賞

つなげよう、地球の未来。

第6回「SDGs岩佐賞」受賞者発表！

目の前の課題に真摯（しんし）に向き合い、SDGs達成に向けて活動している人たちを応援したい――。そんな思いから、公益財団法人岩佐教育文化財団が2022年に創設したのが「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」（SDGs岩佐賞）です。
第6回の応募総数は732件。厳正な審査を経て、全8部門27団体の受賞が決定しました。すべての受賞者の活動詳細と喜びのコメントは、朝日新聞SDGs ACTIONに掲載しています。
4月からは、第7回「SDGs岩佐賞」のエントリーが受け付け開始。岩佐教育文化財団はこれからも、SDGs達成のために地道な努力を重ねるみなさんを応援し続けます。

公益財団法人
岩佐教育文化財団
代表理事　岩佐 実次

SDGs岩佐賞は、おかげさまで第6回を迎えました。応募者の方々の情熱はお届けらしく、選考過程では悩むことこそしばしです。皆さんの行動力と努力は、多くの人々にとって明るい道しるべになっていることと思います。
この賞の存在をもっと多くの人に知ってもらい、必要な人に支援が届くよう、大事に育てていきたいと考えています。応募者の皆さんとより真摯に向き合うために、2025年度からは年1回の実施とすることにしました。次回以降も、多くの方々からのご応募をお待ちしています。
岩佐実次

医療の部

病気や障害の当事者が語る経験や思いを貴重な情報として記録し、社会資源に

認定NPO法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン
（代表者 中山健夫さん）

がん や認知症の当事者と家族、障害をもつ学生などが語る体験を、「異常の発見」「治療法の選択」「仕事への影響」などテーマ別に映像や文章などでウェブサイトに公開しています。私たちは、1990年代に英国で医師らが構築した活動をモデルに、2007年からこれまでにの約500人から1000時間を超えるインタビューを収集。ウェブサイトへの訪問者数は、多い月で約8万5000人に上ります（24年実績）。当事者の声は患者や家族がこのような状況病の参考にするだけでなく、医療者が患者の思いを知るためにも機能します。また、医療・福祉系の大学の授業や、研究者の論文にも利用され、今後より良い医療のために生かされています。

賞金 500万円

ネパールの母子の命を守りたい 駒ヶ根の市民や専門家が多彩な支援

ネパール交流市民の会
（代表者 北原照美さん）

賞金 300万円

長野・駒ヶ根市の国際協力友好都市、ネパール・ポカラ市、同市の妊産婦・乳児の死亡率を減らすため、「母子保健プロジェクト」に2015年から取り組んでいます。主な活動は、産前産後の健康教育や母乳育児のための乳房ケア、母子手帳の作成・試行運用など。地域のお年寄りが毛糸で編んだ帽子を贈るなど、市民間の温かい交流もあります。

開発途上国の妊産婦を救たい 一般の人も使えるAIエコーの開発

株式会社SOIK
（代表者 吉田国之さん）

賞金 300万円

コンゴ民主共和国の妊産婦死亡率は、日本の約100倍に上ります。貧の高い産科健診のため、私たちはスマホアプリを開発し、150人近い医療従事者に研修を実施、導入した医療施設では、妊婦健診数が75%向上しました。現在、誰でも使えるスマホ型AIエコーの開発と、農村内でも高リスク妊婦をスクリーニングできる仕組みを構築中です。

教育の部

障害があっても理系の実験ができるインクルーシブな科学教育環境を構築

東京大学インクルーシブデザインラボラトリー
（代表者 益本重宏さん）

日本の大学で、障害のある人が理系の分野に進むには大きな障壁があります。実験室の構造が障害を想定しておらず、障害者が実験や研究をするための環境も支援も不十分だからです。東京大学先端科学技術研究センターのインクルーシブデザインラボラトリーでは、障害のある研究者、理化学機器の専門家、デザイナーらによるチームを組織し、バリアフリー実験室を設計、実験台、流し台、試薬収納キャビネット、製品用シャワー、洗眼洗面器など車椅子でも使用できるものを設置しました。こうした基礎的環境整備のほか、当事者と教員、支援者が合理的配慮のために乗れる対話を効率的に進めるツールも開発、インクルーシブな研究環境を実現しています。

賞金 500万円

108の国・地域の仲間とつながる! SDGsの協働学習プロジェクト

一般財団法人ジャパンアートマイル
（代表者 塩飽隆子さん（左））

賞金 300万円

日本に居ながら、インターネットで海外のパートナー校とつながり、10カ月間の協働学習をする小・中・高・大学向けのプロジェクトを進めています。学習テーマは、地域課題をSDGsに関連づけて設定、翻訳ソフトも使って意見を交わし、学習の最後に大壁壁画を共同で制作します。異文化を尊重し主体的に考える力が育ちます。

カンボジアに体育の授業を定着させ子どもの協調性や思考力を伸ばす

認定NPO法人ハート・オブ・ゴールド
（代表者 有森裕子さん）

賞金 200万円

内乱の影響で教育が荒廃していたカンボジアで、JICAの草の根技術協力事業として、2006年から小・中・高校の体育科教育振興を支援。指導要領の作成、教師向けのワークショップ開催、各地域の授業サポート、コンテンツ制作を行いました。知識、技能、態度、協調性、習慣を身につける新しい体育が根付いています。

理工系の仕事の面白さ、広めた!子ども向けの科学イベントを開催

大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワーク
（代表者 中本有紀さん）

賞金 100万円

日本では理工系分野で働く女性の割合が少ないという現状があります。2019年、大阪大学の理工系分野の女性技術職員が中心となって、働きやすい環境づくりや理工系の進路選択を聞やすためのネットワークを結成。小学3・4年生と保護者対象の科学イベントには、6年間で国内外からのべ150組の親子が参加してくれました。

福祉の部

ホームレス状態の人が居場所と職を得て再出発するまで寄り添って支援

認定NPO法人Homedoor
（代表者 川口加奈さん）

賞金 1,000万円

ホームレス状態になるのは自業自得、という偏見が社会には多く散見されます。しかし、なんらかの事情で仕事、住居、貯金のいずれかが欠落すると、困窮状態から自力で抜け出すことが難しい。それは社会構造の問題でもあると思います。私たちHomedoorは、ホームレス状態の人たちに、情報を届ける→選択肢を広げる→「暮らし」を支える→「働く」を支える→再出発に寄り添う→社会に知ってもらう、と段階的な支援をワンストップで行っています。就労については、大阪市内でシェアサイク ル事業を運営し、自転車の貸し出しやメンテナンスなど、身分証がなくても働ける場を提供しています。今後も支援の幅を広げ、路上生活脱出の選択肢を創出していきます。

「家にいたくない」事情を抱えた若者に居場所・仕事・住まいを提供しサポート

NPO法人サンカクシャ
（代表者 荒井佑介さん）

賞金 300万円

虐待などによって居場所を失い、孤立する若者は少なくありません。サンカクシャは2019年から、公的・民間支援が手薄になる15歳～25歳向けの活動を実施。居場所として開放している東京・豊島区のスペースの来所者数は、年間約3000人近くに上ります。協力企業から動画編集などの仕事も受注し、自立に向けたサポートもしています。

病気や障害のある子どもとその家族に楽しく思い出に残る写真撮影体験を

笑顔の向こうに繋がる未来プロジェクト PLAY&PHOTO Studio
（代表者 安田一貴さん）

賞金 100万円

医療的ケアが必要な子どもの特別なニーズに寄り添って、希望の場所で出張撮影。その子らしさを感じられる瞬間をとらえ、家族の記念になるクオリティーの高い写真を撮影しています。理学療法士の経験を生かし、子どもの病気特性や入工呼吸器などの管理にも配慮、撮影体験が楽しい思い出となるように活動しています。

環境の部

「もったいない」をみんなでシェア 地域で協力し、食品ロスを解消する

NPO法人あそびとまなび研究所（代表者 秋葉祐三子さん）

賞金 500万円

余ってしまった食品、使わなくなった文房具やおもちゃ、雑貨などを、次に活用する人へ、子育て世代を中心に、みんなでシェアするフードバンドバー活動が、むだのない循環型社会をつくります。子どもたちも活動に参加することで、社会問題である食品ロスを体感し、次世代の暮らしのあり方について考えを深めることができます。

被災家屋から「瓦」を回収・再利用 能登の誇る伝統的景観を未来へつなぐ

NPO法人ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク
（代表者 坂 茂さん）

賞金 100万円

能登半島地震で倒壊した家屋から、家主の了解を得たうえで解体前に「能登瓦」を回収する活動を行っています。解体工事が始まれば、瓦は粉々になって廃棄されてしまううえ、新たに能登瓦を製造できる企業はいま存在しません。少しでも多くの瓦を回収・再利用を進めることで、黒光りする能登瓦の美しい景観を取り戻していきたいです。

経済の部

賞金 200万円

ごみを出さない町の人口減少問題 クラフトビール醸造でにぎわいを

株式会社スペック（代表者 田中達也さん）

徳島県上勝町は、ゼロ・ウェイスト（ごみを出さない）宣言で注目を集める一方、過疎化という深刻な課題を抱えていました。そこで、2015年からクラフトビール「カミカゼビール」を醸造、東京での直営店や全国展開でブランドを確立しました。いま上勝町には移住者も増えており、新たな可能性を感じています。

賞金 100万円

厄介者だったもみ殻を再利用し農業や工業、健康にも役立つ製品へ

ケイワート・サイエンス株式会社（代表者 前ノ園晃さん）

賞金 100万円

農業で大量に廃棄されていたもみ殻から、有用な工業原料であるケイ素を抽出する技術を開発。ケイ素の水溶液の作成にも成功し、農作物の肥料や飼料、さらに化粧品や食品、工業材料としての活用を進めています。農業から工業への資源の循環と、石油の代替原料としての環境負荷の軽減にも貢献し、持続可能な未来を築きます。

賞金 100万円

シニア世代が調理の仕事で活躍 働き手不足を解消して地域を元気に

株式会社ジーバー（代表者 永野健太さん）

賞金 100万円

「まだまだ元気」「もっと働きたい」というシニア世代が活躍できる場が少ないことに気づき、宮城県仙台市でシニア人材活躍支援事業を展開。60歳以上の人材がおせち等の製造販売や食堂の運営などを行う「ジーバーFOOD」を2022年から始めています。食を通じてシニアのやりがい・創出と地域の活性化に貢献しています。

平和・人権の部

撮影/雨森希紀

賞金 300万円

司法の力で不合理な制度を変えよう! 公共訴訟の専門家集団が挑む

一般社団法人LEDGE
（代表者 亀石倫子さん）

立候補年齢や選択的夫婦別姓の問題など、日本社会のルールの一部は自由や人権を侵害しているという意見があります。公共訴訟は、そうした「不合理」と考えられる社会課題について、国や自治体を相手に訴訟を起こし、法律や制度を変えていこうという活動です。私たちLEDGEは、弁護士やリサーチャー、キャンペーナーなどの専門家からなり、戦略的・組織的に公共訴訟をサポートする集団です。必要な資金は、助成金や、その裁判に興味を持った企業や個人からの寄付を募り、安定した財政基盤で臨みます。法律や制度の是正を目指すとともに、人々が社会課題に対して声を上げやすい世の中へと変わっていくことも目標としています。

髪の毛を失った子どもたちに自己肯定感を高める体験を

NPO法人Alopecia Style Project Japan
（代表者 土屋光子さん）

賞金 200万円

ヘアロスへの理解促進や支援活動の一環として、ヘアロスキッズとその家族が参加する合宿を実施しました。子どもたちは水遊びや花火、バーベキューを楽しみ、親向けにはワークショップを開催。情報収集と仲間との交流が実現しました。子どもたちが自分のヘアロスについて考え、経験を自信に変えていく機会を提供しています。

言葉が通じなくても安心して受診を 外国人のための医療通訳ブックを開発

HELP YOU PROJECT
（代表者 古山正裕さん）

賞金 200万円

外国人が日本の医療機関を受診する時に役立つ冊子を2020年から開発・販売しています。体の部位や症状などの対訳に、130以上のイラストが描いてあるので、該当箇所を指差すだけで不満を減えることができます。現在、「英語版」「中国語版」「やさしい日本語版」が、800以上の医療機関や大学、自治体で利用されています。

芸術・スポーツの部

障害者の水中運動を1対1で指導 健常者と同様にプールを楽しむ社会に

認定NPO法人プール・ボランティア
（代表者 岡崎寛さん（右）、織田智子さん（左））

賞金 500万円

障害者のリハビリや体力作り、心身のリラックスに、プールでの運動は非常に効果的ですが、市民プールにはスロープや身日的更衣室などの施設がほとんどなく、利用には大きな障壁がありました。1999年、私たちは水上安全法指導員や水泳教師、ダイビングインストラクター、ライフセーバーなどとともに大阪で「プール・ボランティア」を設立。障害の程度に関わらず利用者を受け入れ、家からプールまでの移動、着替え、マンツーマンでの水泳指導と、分担してプール利用をサポートしています。また、聴覚障害など見た目ではわからない障害をもつ人のため、ヘルプマークをプリントしたスイムキャップを製作。約4000枚を無償配布しています。

難病や重度障害でも野球選手に 技術の力で社会参加も可能になる

ウルトラ・ユニバーサル野球大会実行委員会
（代表者 内多勝康さん）

賞金 300万円

動けない、話せないといった重度障害児が選手として活躍できる野球大会を開催しました。投手、捕手、内野手、外野手、代打、代走、ベンチ入りなどの方法でパソコンを操作し、自宅や病院からも遠隔で参加できる「ウルトラ・ユニバーサル野球」です。日頃、孤立しがちな子どもたちや家族が思い切り楽しむ姿は、人の能力を引き出すテクノロジーの可能性を示しました。

アダンで編む琉球パナマ帽を復活! 作家を育成し、伝統工芸を未来へ

木村麗子さん（琉球パナマ帽子アダン編み指導者）

賞金 100万円

沖縄に自生するアダンという植物の葉を使う「パナマ帽」。継承されずに廃れてしまった編む技術を、約35年間の試行錯誤の末に復活させました。技術講習で編み手を増やし、現在は百貨店や海外のショップにも最高商品として認知されています。希望する編み手には、帽子職人として自立する道をひらいていけたらと思っています。

親子で生き生き過ごしてリラックス ベイビーシアターでアート体験を

to R mansion（代表者 上ノ空はなびさん）

賞金 100万円

撮影/行貝チエ

乳児とその親がリラックスして参加できるインスタレーション「ベイビーシアター」の理論や演出をスウェーデンで学び、日本で国際共同創作作品を上演しました。2021年からは新作を各地で上演し、5年間で延べ約300人が鑑賞、音や光、好奇心を刺激するアートはぐくもの五感の発達を促し、親子が安心できる居場所になります。

農林水産・食の部

自宅やオフィスで育てた苗を森に返し災害リスクの低い山林を増やしていく

株式会社ソマノベース
（代表者 奥川季花さん）

賞金 300万円

「戻り苗」事業は、個人や企業が乞んでりから広葉樹の苗を育て、後々林業事業者らの手で山林に戻す取り組みです。2021年からこれまでに約3500本の苗木が育てられ、約500本が植林されました。苗木を育てながら「森林保護→土砂災害のリスク軽減」という社会貢献がかなう、新たな収穫植物の楽しみ方にいえます。

里山を守る伝統林業を復活させ備長炭製造で地域の産業を復興

株式会社四国の右下木の会社（代表者 吉田基晴さん）

賞金 100万円

徳島県美波町に古くから伝わる樵（きこり）林業は、定期的な広葉樹の伐採と手入れで里山の環境を守っていました。この林業を復活させ、森の荒廃を止めるとともに、木材からは商品質の備長炭を製造、独自の製造方法で熟練の製炭師の技術を再現した備長炭は、過疎化が進む町の新たなブランド商品として販売し、産業を創出しています。

牧場の廃棄物からの資源循環で環境に貢献する日本酒を製造

地エネと環境の地域デザイン協議会（代表者 辻本一好さん）

賞金 100万円

エネルギーと環境の視点から地域や経営の課題をとらえ直す目的で、神戸新聞社内に設立された当会では、神戸の酒蔵、米、酒粕おが牧場の廃液を考案。カキは洗浄のふん尿などから収穫した「酒化滅」です。微生物をたっぷり含む優れたこの肥料を活用し、脱炭素の農法で酒米を栽培。伝統的な醸造法で「地エネの酒・環」が誕生しました。

スーパーの経営と農業を結ぶ循環 卵、鶏肉、牛肉、果物の地産地消に挑む

株式会社潮美フーズ（代表者 濱金一仁さん）

賞金 100万円

スーパーから出る大量の野菜くずを活用するため、2021年から堆肥作りに取り組みました。発足からは約8000トンの養鶏を組み込み、鶏舎も最ぜた地肥を自社農場の果樹栽培に利用しています。毎日1400～500個生まれる卵は直売所で販売。年間約350トンのミミズを飼育しながら、循環型農業と小売を結びつけています。昨年から、肉牛の放牧飼育も始めました。

ブランド杉を使った家具を世界に発信 木を育む里山の魅力を次世代に伝える

株式会社Foreque（代表者 穴井俊輔さん）

賞金 100万円

熊本地震からの復興に貢献したいと考え、地域資源・小国杉のブランド化を促進するForequeを2017年に創業。「満ち溢れた人生”をコンセプトとした「FTL」の家具は、デザイン性と小国杉の価値が世目され、国内外で数々の賞を受賞しました。産地の里山では、田園に行く秋食店を開業。毎年約4万人が訪れています。

朝日新聞社は「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」のメディアパートナーです。

第7回「SDGs岩佐賞」は、来月からエントリー開始！
岩佐賞は年1回の開催へ。賞金総額も増額！

応募期間　**4月11日(金)～5月26日(月)**

応募方法　「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の特設ウェブサイトから応募フォームに記入のうえ送信してください。
特設ウェブサイト https://sdgs-iwasazaidan.com

■お問い合わせ／「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」事務局　TEL:050-3623-0751（10:00～17:30）　Mail: jimukyoku@sdgs-iwasa-zaidan.com

The Asahi Shimbun SDGs ACTION!
すべての受賞者の活動詳細、受賞コメントは朝日新聞SDGs ACTION！で公開中!
https://www.asahi.com/sdgs/brand/iwasasho/

公益財団法人　岩佐教育文化財団

財団の主な活動
- 大学生を対象とした奨学金給付活動
- 高校生を対象とした奨学金給付活動
- ナチュラル農業体験・環境教育活動
- 「岩佐賞」授与活動
- 災害支援活動